

労福協



労福協だより

2011春号

(社)静岡県労働者福祉協議会

お見舞い

3月11日に発生した東日本大震災により被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。被災された皆さん的一日も早い復興を切に願っております。

平成23年3月14日

(社)静岡県労働者福祉協議会

労働金庫協会発刊の小冊子

「マネートラブルにかつ」、 県内でも自治体版発行へ



住まいと暮らしの
「防災・保障点検運動」展開中

だから「ろうきん・全労済」
なんですね!!

LSC活動報告と今後の予定

書き損じハガキください

川柳入選作品きまる

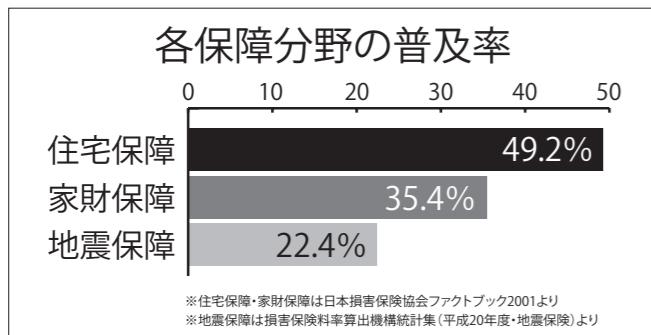
地域・地区労福協活動紹介

●新春のつどい 伊東・熱海地区

●親子ふれ愛のつどい 棚南地区

●自主福祉運動の学習会 小笠南地区





組合員とご家族が、災害に対して「備える・守る・再建する」の3つの視点で点検いただいています。この運動の背景には、上の表のように生じる保障や医療保障、自動車関連保障分野に比べ、住宅関連保障の普及率はきわめて低いことがあります。住宅・家財・地震等の保障は皆さまの「住まいと暮らし」の基本保障にもかかわらず、場合

『組合員の皆さまとご家族の生活再建のために』



全労済静岡県本部では、現在「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」を展開しています。

組合員とご家族が、災害に対して「備える・守る・再建する」の3つの視点で点検いただいています。この運動の背景には、上の表のように生じる保障や医療保障、自動車関連保障分野に比べ、住宅関連保障の普及率はきわめて低いことがあります。住宅・家財・地震等の保

によっては気づかぬうちに「無保障もしくは保障が不充分な状態」になっている危険性があります。

「防災・保障点検運動」展開中!!

住まいと暮らしの

「防災・保障点検運動」展開中!!

やその後の暮らし今までトータル的な対策が大切だと

いうことが解ってきました。

これまでに協力団体と組合員の皆さんにご協力いたしましたが、県内では248団体で4万5109枚のアンケートが集約されました。(2011年2月4日現在、引き続き展開中です。)

その結果、意外にも

「5人に1人」が無保障もしくは保障が不

充分という結果となっています。(住宅・

家財・地震の保障のいざれかに「未加入」とお答えになつた方の割合)

東海地震などが予測されている県内です

が、意外にも保障が不充分な実態が判つてきました。

無保障もしくは保障不充分の方

住宅・家財・地震のいざれかの保障に未加入とお答えになつた方

その他

21.2%

その他

78.8%

※住宅・家財・地震のいざれかの保障に未加入とお答えになつた方

その他

21.2%

その他

78.8%

今からでも備えよう！

無保障で大丈夫？

今からでも備えよう！



バレンタイン ライトアップパーティー 大盛況!



*LWサポートとは:静岡県経営者協会、連合静岡、静岡県労福協ならびにNPO法人地域活性化支援センターが、それぞれの立脚点の相違を越えて、ワークショップへの取り組みを通じた少子化対策に貢献すべく、労使協働による円滑な活動を目的として、NPO法人L.W.サポートを2008年8月1日設立いたしました。情報誌「LWマガジン」発行事業、福利厚生用「LWカード」発行事業、交流イベント「ライトアップパーティー」開催事業、各種セミナーの企画運営事業などを行っています。

LWサポート『バレンタイン・ライトアップパーティー』は、当初予定の2倍を超える応募をいただき抽選で選ばれた方達が、2月5日の静岡会場151名、2月12日の浜松会場311名と沼津会場256名、合計716名の参加をいただき大盛況の内に開催することができました。

本事業は静岡県の補助事業「静岡県育ててよし、ふじのくに民間チャレンジ応援事業」として実施されました。これまで少子化対策に対する県の支援は「子育て」に限られており、未婚者に対する婚活事業への補助は新たな大切な第一歩と呼べるものではないかと考えております。

ゲストに假屋崎省吾さんと桂由美さんのトーク・交流をいただいたこともあり、各会場とも初対面の方々の交流会とは思えぬ和気藹々とした雰囲気の中、終了時には立ち去りがたい人々でいつまでも賑わっていました。また当日成立したカップルは37組、それ以外にもペアで話し込んだり親密にアドレスを交換する姿が数多く見受けられ、仲良く肩を並べて会場を後にするカップル達を見ていると…この中から幸せなカップルが生まれることは間違いないような気がいたしました。

参加者の皆さんのが笑顔と前向きな姿に触れ、このような機会と場の必要性を痛感するとともに、一回限りのイベントではなく安定的な出会いの場として提供して行くことが少子化対策への一つのアプローチとして大きな意義を持つものと確信することができました。

今企画の成功の源は、静岡県の補助事業であり共催団体が連合静岡・労福協・経営者協会等の信頼性に支えられ、参加者から「安心・安全」と評価をいたしましたからと考えております。この実績を元にライトアップパーティーの定期的な開催とより良い交流機会の創造を目指し、頑張ってまいりたいと考えておりますので、今後ともご支援くださいますようお願い申し上げお礼とご報告とします。

(NPO法人LWサポート 理事長 志垣恭平)

【事業の概要】

- 事業名:LWバレンタイン ライトアップパーティー
- 会 場:2/5 ホテルシティオ静岡
2/12 ホテル沼津東急
2/12 グランドエクシブ浜名湖
- 目 的:未婚者の出会い機会の創造、結婚に対する前向きな空気の醸成
- 主 催:NPO法人LWサポート
- 共 催:連合静岡、(社)静岡県経営者協会、(社)静岡県労働者福祉協議会、NPO法人地域活性化支援センター
- ゲ スト:假屋崎省吾さん、桂由美さん(トーク&交流)



東部分散会の様子



使用された
テキスト

だから
なんですネ!!

労働組合役員になつて原則3年未満の方を対象にした「地域セミナー」(ALWF・福祉基金協会主催)が県下3ヶ所(2/1沼津2/4浜松2/15静岡)で開催されました。

メイン講義は、午前中の「労働者福祉運動小史」で協同組合運動の歴史や理念、日本における戦後労働運動や労働者自主福祉運動の歴史と県内の取組みなどを学びます。

「ろうきん・全労済」が生まれた時代背景、相互扶助の理念や意義、先人達の思いや

軌道に乗せるまでの苦労話、労働者の暮らしや福祉にベクトルを合わせた数々の事業や運動について歴史を学びます。

午後は、労福・ろうきん・全労済からの報告・講義の後に分散会となります。分散会では参加者の事業所宣伝などで場が和んだ後、「学んだことを組合員にどうやって伝えれるか、知つてもらうことの大切さ・難しさ」などが熱心に話し合われました。

セミナー終了後には懇親会もあり、自分の職場以外の役員と話す機会が少ない人にとっては異業種の交流の場となっています。多少のお酒も入り横の繋がりが図れることが地域セミナーの良い点ですね。

今回、参加いただいたのは計134名です。皆さんからのアンケートのごく一部を紹介させていただきます。

【参加者の声】(アンケートより)

○色々な単組の情報交換ができるよかったです。これからも執行委員等の経験の少ない人の教育、交流の場をつくつけてもらいたいと思います。

○自主福祉運動の歴史から生い立ちの理解も深まつたため、知識を活かしつつ組合の取組みへ繋げていきます。

○本日は各労組の活動状況に大きな差があることに驚き、大変参考になりました。

○自主福祉運動の必要性・重要性を痛感しました。労福・ろうきん・全労済とともに多くの知識を得ることが出来たと思います。

○「ひとりは万人のために、万人はひとりのために」このスローガンで活動していることを伝えたい。



中部会場 山本講師



西部 ろうきん 石貝講師



東部 全労済 金岡講師

労福協ってなあ～に!

パート19



注: L.W.は、Labor's Welfare(労働者福祉)の略です

静岡県労福協では、今年もこの取組みに協力しようと、書き損じハガキを関係団体の皆さんに呼びかけています。

を行っている「静岡県ボランティア協会」では、同協会の活動資金の一部として役立てるため、「書き損じハガキ」を募集しています。

県内のボラ

ンティアに関

する広報・啓

発・相談・支

援・調査・研

究、学びの場

づくりなど

様々な活動

を募集しています。

静岡県労福協では、今年もこの取組みに協力しようと、「書き損じハガキ」を関係団体の皆さんに呼びかけています。

（社）静岡県労働者福祉協議会 宛

〒420-0851 静岡県葵区黒金町5-1

県労働者総合会館4F

（静岡県の委託で）

「L.W.サポート」が

やつたつ聞いていたよ

「L.W.サポート」が

假屋崎省吾さんが

出演した婚活

パーティーで

聞いたよ

川

柳

入選作品

まる

る

う

き

ま

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

川柳表彰式

優秀賞

講評

再仕分け

僕の小使い妻はねる

高野邦彦様

最優秀賞

講評

泥はねを

まともに貰う松葉杖

棚池元子様

泥はねを

まともに貰う松葉杖

棚池元子様

</